

2025-2026年度 クラブスローガン

Let's enjoy "We Serve"



NUMAZU
LIONS
CLUB



LION



december

2025

Newsletter

No.781



オセ
アル
フ
の
地
に
て
開
催
!

特集Ⅰ～生成AI時代本格到来!～

例会報告

同好会REPORT

特集Ⅱ～ヨハン・ノール君来訪～

CLUB REPORT



沼津ライオンズクラブ

334-C 3R1Z

2025年(令和7年)

12月31発行〈781号〉

www.numazu-lionsclub.jp

●会長/橋本 賢一

●マーケティング委員長/加藤 明子

●編集/マーケティング委員会

【事務局】沼津市添地町128 クインテッドビル3F ☎ 055-963-0250 FAX 055-962-5939

【例会場】沼津市上土町100-1 沼津パルコビルその他 【例会日】第1・第3木曜日

特集 I

生成AI時代 本格到来！



ChatGPTは、質問に答えたり文章を作ったり、考えを整理したりしてくれる対話型のAIです。使い方はとても簡単で、画面の入力欄に知りたいことやお願いしたい内容を日本語で書いて送信するだけです。難しい命令や専門用語は必要なく、普段話すような言葉で問題ありません。たとえば、調べものをするときは質問を書き、文章を作りたいときは「〇〇について300字で書いて」と伝えます。思った答えと違った場合も、「もっと短く」「やさしい表現で」と追加で伝えれば、何度でもやり直しができます。ChatGPTは勉強や仕事、文章作成の手助けとして、初心者でも気軽に使える便利な道具です。



今回のように写真をアニメ化することも簡単です。保存された画像をサイト内にドロップアウトし、「アニメ化」と記載実行するだけでアニメ化された画像が出来上がる。例えば、この写真を「となりのトトロ」や「魔女の宅急便」で有名なスタジオジブリのようなアニメ画像にも、たった「ジブリ風」と文字を打ち込むだけで出来上がります。

表紙を飾った1枚のアニメ画像。こちらは本年、札幌で開催されたオセアルフォーラムの会場で撮った集合写真です。この写真をChatGPTにアップロードし、「アニメ化」と指示をし、たった数分待つだけで、アニメ化された画像が出来上がります。

ひと昔前では、アニメ画家などに依頼しないとこのような画像ができませんでした。今では簡単にできてしまう時代が到来しました。

われわれマーケティング委員会では、この生成AIについて特集を組んでみました。



ジブリ風アニメ画像

生成AI（Generative AI）は、文章・画像・音声・コードなどを自動生成する技術で、ビジネスから教育、創作まで幅広く活用が進んでいます。文章作成や要約、デザイン案の生成、プログラミング補助など、従来の作業を効率化し、生産性を大きく向上させます。また専門的なスキルがなくても作品やアイデアを形にできるため、創造のハードルが下がり、誰もがクリエイターとして活動できる時代を実現します。さらにコミュニケーションのサポートや新しい産業の創出など社会的意義も大きく、生成AIは今後の社会や仕事のあり方を大きく変える重要な技術といえます。

生成AIは業務効率や創造性を高める有用な技術ですが、誤った情報をもっともらしく生成する場合があります。また著作権や個人情報の扱いにも十分な配慮が必要です。生成結果をそのまま信用せず、必ず人の目で確認し、責任ある使い方を心がけることが重要です。

特集Ⅱ ～ヨハン・ノール君来訪～

ライオンズクラブのYCE (Youth Camps & Exchange) 事業は、「平和は教育と相互理解から生まれる」という理念のもと、世界各国の青少年が国境を越えて交流する国際プログラムです。ホームステイやキャンプ活動、地域文化・家庭生活の体験を通じて、異文化理解や思いやり、国際感覚を育むことを目的としています。受入れでは、クラブ会員やホストファミリー、地域の皆さまの協力により、短期間ながらも心の通う交流が生まれ、参加した若者はもちろん、関わった大人にとっても貴重な学びの機会となります。YCE 事業は、次世代を担う若者の成長を支え、世界の友情と平和をつなぐ、ライオンズクラブならではの奉仕活動のひとつです。



Name: Johann Knoll
Gender: Male
Date of Birth: August 8, 2007
Age: 18
Education: High School Senior



はじめまして、ヨハン・クノルです。18歳で、高校卒業を目前に控えています。ドイツのケルンで家族と猫と一緒に暮らし、日本の文化と言語に魅力を感じ、4年間日本語を学んできました。趣味は水泳、絵を描くこと、友人との交流、ゲーム、そして航空への探究です。将来は航空宇宙エンジニアを志望しています。交換プログラムを通じ、日本の生活を学び、皆さまと温かな交流ができることを楽しみにしています。

2025 12 DEC YCE 生受入事業 報告



1 12月第2例会(クリスマス家族例会)ゲストスピーチの様子。一日しっかりと考え、練習して臨みました。とても立派でした。2 橋本会長夫妻と東伊豆へヨハンの大好きなカエルに会うため KAWAZOO へショートトリップ。3 川口幹事ファミリーと朝から餅つき体験。その後静岡県方面へショートトリップした後は、娘さんの通う常葉大学のゼミに特別参加。現地の学生と教員から歓迎を受け特別な体験ができました。(打ち上げは「ハイボール酒場」で大好物のたこ焼きを堪能)



4,5,6 航空宇宙エンジニアを目指すヨハンは戦闘機が大好き。今回し徳田には例会での通訳を務めていただくなど、受入れ事業では重要な役割を担っていただきました。そのし徳田からの贈り物 Surprise Experience 浜松基地で憧れの戦闘機に触れ、1日中機内を飛び回ったそうです。本田君が幼少期、毎日のようにこの浜松基地へ通い、戦闘機に大きな憧れを抱き、エンジンに興味を持ったことがきっかけで、あの世界のホンダを築きました。最高のエンジニアを目指せヨハン!



7 常葉委員長率いる YCE メンバーが中心となり、様々なプランを企画していただきました。最終日三島駅でのお見送り別荘は新たな出会いの始まり。委員会メンバーの皆さまとお疲れ様でした。8 フェルカムパーティの様子。参加したメンバーの誰もがヨハンを歓迎しています。9 ホストファミリーを務めた三須第2副会長夫妻、キャンプへ向かうヨハンと笑顔で別れを惜しみます。息子さんの善くも含め、家族のようにつながり 10 日間の生活はかけがえのない経験となりました。

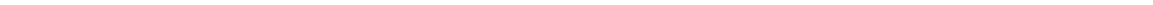
橋 本賢一会長「YCE 受入れ事業を終えて」沼津ライオンズクラブでは、10年ぶりとなる YCE 生の受け入れを実施し、ドイツから来日した 18 歳のヨハン・ノール君が、12月9日から19日までの11日間、沼津に滞在しました。滞在中はクラブメンバーとの交流を通じ、日本の文化や生活に触れる貴重な時間を過ごしていただきました。ヨハン君は日本文化や日本語に強い関心を持ち、自らライオンズクラブの YCE 交換プログラムを見つけて応募したとのこと、滞在中も積極的に会話を交わし、より深い国際交流へとつながりました。今回の受け入れは急な決定であり、十分な準備期間がない中での実施となりましたが、会員の皆様のご理解とご協力により、臨機応変な対応が可能となり、充実した滞在期間となりました。特に三須第2副会長には、ホストファミリーを快くお引きいただき、本事業実現の大きな要因となりました。また、会員家族との交流の機会も設けられ、ヨハン君の希望であった、ジブリや自然観察・航空関連施設を訪れるなど、地域ならではの体験を通じて親睦を深めることができました。今回の YCE 生受け入れは、クラブおよびメンバーにとっても非常に貴重な経験となり、YCE 事業の意義と素晴らしさを改めて実感する機会となりました。今後も青少年への国際交流の場を提供し、相互理解を深めることで、国際平和に寄与する活動を継続してまいります。

川 口博永幹事 ドイツから来日したヨハン君を受け入れ、我が家では一日ホームステイを行いました。臼と杵での餅つき体験や大福作り。羊羹や芋羊羹を通して和菓子の素材を学び、おにぎり作りや日本茶の飲み比べなど、日本の食文化を体験してもらいました。その後は静岡で開催中のジブリ展や丸子の匠宿での竹細工、箸作りを楽しみ、娘の大学ゼミにも参加。同年代との交流は互いに良い刺激となりました。言葉の壁を越え、向き合うことで心は通じると実感した、貴重な国際交流となりました。

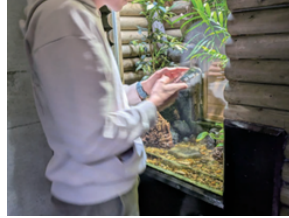
徳 田和人委員長 ヨハン君の大好きな戦闘機を見に、新幹線で浜松基地に行ってきました。車内で初めての駅弁を食べて、浜松駅からバスに乗り、基地の近くで航空管制レーダーが見えた途端に大喜び。館内では、シミュレーター体験、ドームで映画、格納庫で次々と実機のcockpitに座っては機器について係員を質問攻めにしていました。当日はちょうど滑走路でタッチアンドゴー訓練が行われていて、轟音がする度に館内から外に走り、また戻ってはまた外へ走りの繰り返し。夕方ギフト店で F2 戦闘機の高価な模型を勇気を出して買った時の彼はとても嬉しそうでした。絶対また基地に来るぞと心に誓う彼でした。

常 峯孝幸 YCE 委員長 地区からの急な要請に対し、ホストファミリーとしてご対応いただいた三須ファミリーに深く感謝いたします。YCE 委員会は 11 日間、送迎や歓迎会、沼津市長表敬訪問などを実施しました。ヨハン・ノール君には餅つき、箸作り、蕎麦打ち等の日本文化体験に加え、大学ゼミ参加や例会を通じた交流、浜松基地での航空シミュレーションを体験するなど、事業目的は概ね達成できたと考えます。ご理解とご協力をいただいた皆さまに心より御礼申し上げます。将来ご家族で再び来沼されることを願います。

三 須王左武 第2副会長 入会以来初となる YCE 生の夏季キャンプ派遣および、今回の冬季受入れという貴重な機会に恵まれました。息子が現在中学2年で、来年フィリピンへのホームステイを申し込んでいることもあり、家族で相談のうえホストファミリーをお引き受けしました。生成 AI の普及・進化もあり「ことばの壁」に対する不安はなく、来日前からヨハン君とご家族とはメールで連絡を取り合い、情報共有や要望の確認を重ねて準備を整えることができました。実際に我が家へ迎え入れると、たいへん活発で礼儀正しい好青年であり、家族とともに過ごした時間は、かけがえのない経験となりました。また、YCE 委員会をはじめクラブの多くのメンバーに関わっていただいたことで、とても充実した 11 日間を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。



Johann KNOLL – Photos from His Stay in Japan



(December 9–19, 2025)



SCENE

アクティビティ例会など奉仕作業を実施

10月-12月 例会報告

10月から12月は奉仕作業の多い月です。
アクティビティを通じて活気のある活動を！

沼津・沼津香陵ライオンズ
クラブ合同例会

10月第1例会

2025年10月2日、10月第1例会を沼津リバーサイドホテルにて開催しました。8月に実施されたYCE事業に両クラブから派遣生として参加した4名のYCE生による報告会となりました。

今回報告を行ったのは、沼津ライオンズクラブからの派遣生の清水さん（20歳／ベルギー）、沼津香陵ライオンズクラブからの派遣生の武田さん（22歳／エストニア）、坂東さん（19歳／ベルギー）、阿部さん（16歳／イタリア）の4名です。渡航前の期待や緊張、旅先での思わぬアクシデント、そして現地で出会った各国のYCE生との交流についてなど、プロジェクターで映し出される写真を交えながら語ってくれました。単身で2週間以上にわたるホームステイでの体験は、若い彼らの感性に大きな刺激を与えたことが伝わってきました。とりわけ印象的だったのは、現地のホストファミリーが非常に温かく彼らを迎え入れてくれたこと、そしてその厚意に対する感謝の気持ちが報告の随所に表れていた点です。世界のライオンズクラブのメンバーシップが確かに強い絆に支えられていることを、改めて実感できる素晴らしい例会となりました。



アラート委員会例会

10月第2例会

2025年10月16日、10月第2例会を地震発生に備えた減災対策セミナーを市民対象に実施した昨年度に続き、今年度はメンバーを対象に開催しました。

冒頭では、全メンバーに配布された非常食（アルファ米）に熱湯を注ぎ、食事の準備を済ませてから例会セレモニーを実施。その後、「白飯」「ドライカレー」「チキンライス」「五目ごはん」など、各自が選んだ非常食を試食しました。続いて、「南海トラフ地震を想定した時系列対応」をテーマとした講演が行われ、過去の災害事例を紹介する動画を交えながら、地震発生から復旧までの行動や対策、自宅・職場での備えなどについて講義を行いました。メンバーは皆、真剣な表情で耳を傾けていました。

具体的な減災対策の知識とともに、自助の重要性を再確認し、発災時にはライオンズクラブの一員として主体的に復旧支援に関われる意識と姿勢を学ぶことができた、大変有意義な例会となりました。



ZC訪問例会

11月第1例会

2025年11月6日、11月第1例会（ZC訪問例会）を開催しました。私房菜 香香を会場に、334-C地区 3R1Zゾーン・チェアパーソンを務められている沼津中央ライオンズクラブ L 三島時政をお招きし、今年度の地区活動方針に沿った各種項目の進捗状況（達成率）についてご説明いただきました。また、ご自身のご紹介として、ゼネコンを定年退職後にご縁があり沼津中央LCへ入会されたこと、これまで幹事と会長をそれぞれ2回ずつ務められたご経歴、そして今年80歳を迎えられるとは思えないほど澁漵としたお姿など、参加メンバーはそのエネルギーの高さに大きな驚きと刺激を受けました。

来年度は持ち回りにより、当クラブからZCおよび地区委員を輩出する年となります。今回の公式訪問例会では、役職の意義や心構えなど多くの学びを得ることができ、大変有意義な例会となりました。



アクティビティ例会 11月第2例会

2025年11月24日、11月第2例会（アクティビティ例会）として、沼津ライオンズクラブはアイバンク・献眼登録推進活動を実施しました。活動場所は、プラサヴェルデ（キラメッセぬまづ）で開催された「福祉まつり」会場、沼津駅南口周辺、サントムーン柿田川の3ヵ所に分かれ、同時展開となりました。当日は、多くの来場者よりアイバンクへの理解と献眼登録へのご賛同をいただき、啓発活動として大変有意義な時間となりました。

今後も沼津ライオンズクラブは、「献眼の沼津」の精神を受け継ぎながら、地域に根ざしたアイバンク活動の推進に努めてまいります。



アクティビティ例会

12月第1例会

2025年12月14日、沼津野球連盟学童部の児童と保護者が参加し、12月第1例会を開催しました。第1部では「スポーツがつなぐ親子の未来」をテーマにパネルディスカッションを行い、スポーツが人生や社会に与える影響について意見を交わしました。パネラーには、社会人野球シダックス初代監督で高校野球解説者の大須賀健氏、元アスルクラロ沼津選手の大須賀健太氏を迎え、当クラブ会員で野球指導者のL岡田哲也が加わり、ファシリテーターは当クラブ会員のL杉澤教人が務めました。努力を続ける力や仲間を思いやる心の大切さなど、勝敗を超えたスポーツの価値が語られ、参加者にとって学びの多い時間となりました。第2部では、児童による「親子夢宣言カード発表」を実施しました。将来の夢や目標、感謝の気持ちをカードに書いて発表し、「野球選手になりたい」「勉強や練習を頑張る」といった力強い言葉や、保護者への感謝の言葉が多く聞かれ、会場は温かな雰囲気に包まれました。



クリスマス家族例会

12月第2例会

12月18日、沼津リバーサイドホテルにて、12月第2例会「クリスマス家族例会」を開催しました。例年以上に多くのご家族にご参加いただき、会場は明るく華やかな雰囲気に包まれました。奥様同士の会話にも自然と花が咲き、終始あたたかく穏やかな時間が流れていました。美味しい料理とお酒を囲みながら会話も弾み、マンドリンのやさしい音色が会場に心地よく響いていました。マジックショーでは、昨年よりさらに工夫を凝らした演出が披露され、間近で繰り広げられる不思議な世界に会場の皆さんが引き込まれていました。マジシャンが各テーブルを回り、目の前で披露されるマジックに、驚きと歓声があちこちから聞こえてきました。恒例のクリスマスプレゼント抽選会では、番号が呼ばれるたびに期待が高まり、沼津でホームステイ中のヨハン・ノール君（ドイツ）にお米が当たる場面も。全員がプレゼントを手にし、会場には自然と笑顔があふれていました。家族例会ならではの魅力を改めて感じる、心温まるひとときとなりました。



CLUB REPORT ACTIVITY

寄 贈

334-C地区統一 奉仕の日 フードドライブ開催！

10月12日、静岡県内67クラブによる統一アクティビティが実施されました。沼津ライオンズクラブでは、市内5クラブの会員から寄せられたお米やインスタント食品などを、NPO法人「フードバンクふじのくに」に寄贈（引き渡し）しました。これらの食料品は、今後必要とされるご家庭や子ども食堂などへ届けられます。



物価高騰が続く中、地域の安心につながるよう、今後も継続して支援活動を行ってまいります。

青少年

第48回選抜少年野球 沼津交流大会



10月13日（スポーツの日）、台風による雨予報で開催が心配されましたが、曇り空のもと無事に開会式が行われました。前回優勝チーム「四小アトムズ」より、沼津ライオンズクラブカップの返還。沼津市内をはじめ、県東部・伊豆から全32チームが参加しました！子どもたちのはつらつとした笑顔と元気いっぱいの選手宣誓が印象的でした

青少年

沼津視覚特別支援学校 樹木札取付交流事業



10月17日、静岡県立沼津視覚特別支援学校において樹木札取付交流事業を実施しました。昨年度のCN65周年記念事業に続き、今年度は残る48枚の樹木札を生徒の皆さんとクラブメンバーが協力して取替えしました。秋晴れの下、交流を深めながら作業を進め、支援活動の意義を改めて実感する貴重な機会となりました。

OSEALフォーラム

第62回OSEALフォーラム 札幌 開催

10月23日から札幌市で開催された第62回OSEALフォーラムin札幌に、沼津ライオンズクラブより18名で参加しました。日本での開催は2019年広島大会以来6年ぶりとなり、開会式ではOSEAL地域各国の代表者が一堂に会し、ライオンズクラブ国際協会会長AP.シン氏の力強いメッセージに触れることができました。会員相互の親睦も深まり、国際交流の意義を実感する貴重な大会参加となりました。



寄 贈

イルミネーション 点灯式に参加

11月1日『沼津イルミネーション点灯式』に参加しました!! 沼津ライオンズクラブのメンバーであるL山本真太郎・L加藤あきこ 両名が中心となり立ち上げた「沼津イルミネーション実行委員会」では、毎年冬に沼津市内へイルミネーションを設置する活動を続けています。本日は6年目の取り組みとなり、沼津駅北口広場に高さ6mを超える巨大なクリスマスツリーが設置され、そのお披露目となる点灯式にスポンサーとして参加いたしました。街中にイルミネーションを灯すことで、冬の街に温かさや華やかさが生まれ、市民や来訪者に季節の潤いや笑顔を届けます。



夜間の回遊性が高まり地域商店の活性化につながるほか、防犯や安全面にも寄与します。光を通じて地域の魅力を発信し、まちへの誇りと絆を育むこの活動を、私たちはこれからも支援してまいります。

周年式典

沼津千本LC CN60周年記念式典

11月9日、CN60周年を迎えられた沼津千本ライオンズクラブの記念式典に、当クラブより役員9名が参加しました。式典では、橋本会長がスポンサークラブを代表して祝辞を述べられ、60年にわたる奉仕活動への敬意が表されました。また、「沼津プラス・フロンティア支部」の結成式や、L濱野雅司による講演「奉仕で築く地域の絆」が行われ、ライオンズクラブの理念である「We Serve」の精神を改めて学ぶ貴重な機会となりました。



薬物

薬物乱用防止教育認定講師養成講座



11月27日、静岡市のグランシップにおいて、ライオンズクラブ国際協会 334C地区「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」が開催され、当クラブから橋本会長とL岡田が参加しました。また、L徳田は講師として登壇し、分かりやすい講話で活躍されました。近年、青少年による大麻使用やオーバードーズが社会問題となる中、薬物乱用防止の重要性を改めて学ぶ貴重な機会となりました。L徳田の分かりやすい講話は受講者からも好評を博しました。

薬物

薬物乱用防止講習会 沼津工業高等専門学校



12月2日 沼津ライオンズクラブでは、毎年青少年を対象にした薬物乱用防止講習を実施しています。認定講師が学校を訪問し、新一年生に対して危険薬物の種類や乱用の恐ろしさ、そして種類ごとの身体への影響について分かりやすく講義を行っています。青少年が将来にわたって健やかで幸せな人生を歩めるよう、私たちは今後も講習を通じて薬物乱用防止活動に取り組み、奉仕を続けてまいります。

同 好 会 R E P O R T

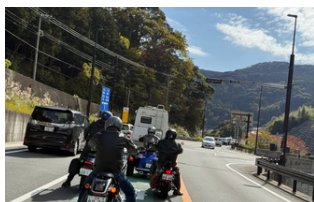
ゴルフ 同 好 会



10月17日・11月16日・12月21日 定例杯開催

沼津ライオンズクラブゴルフ同好会では、毎月第3日曜日に沼津ゴルフクラブにおいて定例杯を開催しています。本同好会は、クラブをご卒業され会友となられたOBの皆様ともプレーを楽しめる貴重な交流の場であり、年齢や性別、入会歴を問わず、ゴルフを通じて親睦を深めることができる歴史ある同好会です。和やかな雰囲気の中にも真剣勝負が繰り広げられ、会員相互の交流と友情を育む場として、多くのメンバーに親しまれています。

バイク 同 好 会



11月23日、バイク同好会で伊豆半島を半周するツーリングに行ってきました。当日は雲ひとつない晴天に恵まれ、まさに絶好のツーリング日和。オブザーバーとしてゲストの方の参加もあり、6台のバイクで風を感じながら走る、最高に充実した一日となりました。昼食では、下田の「どんかつ 暁亭」にて名物の「ヤングマンステーキ」を堪能。ジューシーで食べ応えもあり、走った身体に染み渡る美味しさでした！仲間と共に走る楽しさを改めて感じた、思い出深いツーリングとなりました。

山 歩 き 同 好 会



11月8日、神奈川県伊勢原市の大山に登ってきました。当日は天候にも恵まれ、沼津駅から御殿場線と小田急線乗り継ぎ、伊勢原駅からバスとケーブルカーを利用して、大山阿夫利神社下社を経由し山頂を目指しました。岩場の多い登山道には苦戦する場面もありましたが、全員無事に登頂。恒例の山頂でのコーヒーを味わいながら、秋の山歩きを満喫しました。熊の出没情報もありましたが、多くの登山者で賑わっており、安心して歩くことができました。山歩きの楽しさを改めて実感した一日となりました。次回の山行も楽しみです。